

■コメント

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

- ・インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘は多い状態が続いていると考えられます。
- ・昨年最終週において流行入りしたインフルエンザは、学校が冬休みに入ったため報告数は少なくなっていますが、これまでの過去の例から、学校が始まると流行が拡大し、数週間のうちにも注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えると予測されます。
- ・感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。

寒いが続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染症予防を心がけましょう。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい
												↑	↓	↗	↘
フィルン	インフルエンザ	15	0.44	3.11		小児科	流行性耳下腺炎	8	0.38	0.48					
小児科	咽頭結膜熱	5	0.24	0.14		眼科	RSウイルス感染症	12	0.57	0.81					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.71	0.62			急性出血性結膜炎	-	-	-					
	感染性胃腸炎	101	4.81	8.84		流行性角結膜炎	3	0.43	0.60						
	水痘	19	0.90	1.89		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-					
	手足口病	-	-	0.13			無菌性髄膜炎	2	0.33	-					
	伝染性紅斑	-	-	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.46					
	突発性発しん	3	0.14	0.35			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	百日咳	-	-	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.33	-					
	ヘルパンギーナ	-	-	-											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	7
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

報告はありません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
報告数	広島市	第49週	6	27	29	316	37	4	-	9	-	13	9	2	5	-	1	-	-	-	-	-
	第50週	9	31	41	346	55	3	-	13	-	1	14	17	-	1	-	2	3	-	1	-	
	第51週	18	34	33	360	37	-	-	15	-	-	15	27	-	5	-	1	1	-	-	-	
	第52週	39	24	20	357	64	3	-	6	-	-	14	25	-	3	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第49週	0.17	1.17	1.26	13.74	1.61	0.17	-	0.39	-	0.57	0.39	0.25	0.63	-	0.14	-	-	-	-	-
	第50週	0.25	1.35	1.78	15.04	2.39	0.13	-	0.57	-	0.04	0.61	0.74	-	0.13	-	0.29	0.43	-	0.14	-	
	第51週	0.50	1.48	1.43	15.65	1.61	-	-	0.65	-	-	0.65	1.17	-	0.63	-	0.14	0.14	-	-	-	
	第52週	1.08	1.04	0.87	15.52	2.78	0.13	-	0.26	-	-	0.61	1.09	-	0.38	-	-	-	-	-	-	
全国	第51週	1.39	0.80	2.38	18.07	2.00	0.36	0.10	0.47	0.01	0.03	0.29	1.30	0.01	0.71	0.01	0.04	0.33	0.03	0.08	0.08	
	第52週	1.90	0.70	1.74	13.86	1.96	0.24	0.08	0.41	-	0.03	0.23	1.16	0.01	0.66	0.01	0.04	0.33	0.03	0.05	0.05	

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市におけるインフルエンザ報告数及び迅速診断キット検出数

インフルエンザの定点医療機関からの報告は、増加傾向で推移していましたが、年末から年始にかけての第1週は、医療機関の休診が多かったため、例年と同様に報告数は減少しました(図1)。

しかし、基幹病院(2か所)における迅速診断キットによるインフルエンザウイルス検出数は、第1週は非常に多くなっています。これは、この期間も診療を行っていたため、患者が集中したと考えられます(図2)。

なお、第1週のインフルエンザ迅速診断キットによる検出数の型別内訳は、A型が132人、B型が8人と、ほとんどがA型です。

図1 インフルエンザ報告数

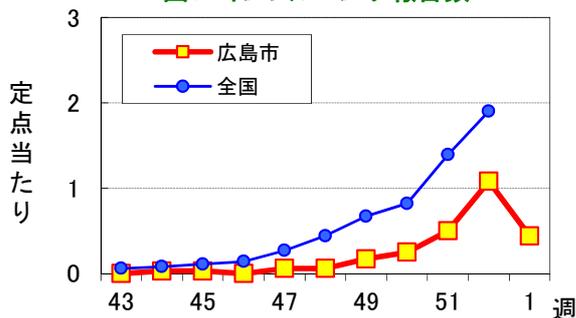
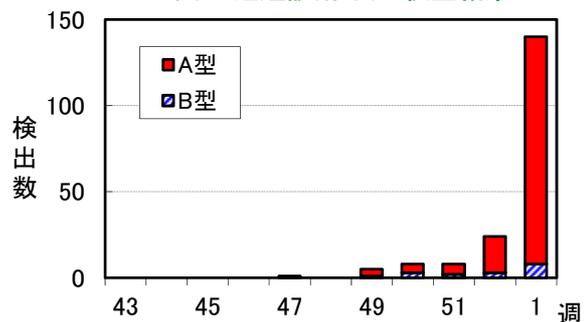


図2 迅速診断キット検査結果



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp